農林水産省近畿農政局

## 作物統計調査

令和7年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量(近畿)

近畿の令和7年産主食用米の予想収穫量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は47万3,900トン(前年産に比べ3万1,900トン増加)の見込み

## 【調査結果の概要】

- 1 近畿の令和7年産水稲の<u>10月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅(1.80mm、1.85mm、1.90mm</u>) ベースの予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米)) \*\*は47万3,900 t で、前年産に比べ3万1,900 t 増加と見込まれる。
  - ※ 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm、1.85mm、1.90mmベースのふるい上米

これは、<u>作付面積(主食用)が9万3,500haで前年産に比べ2,900ha増加した</u>ことに加え、10月25日現在における10a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)が507kgで前年産に比べ19kg増加と見込まれるためである。

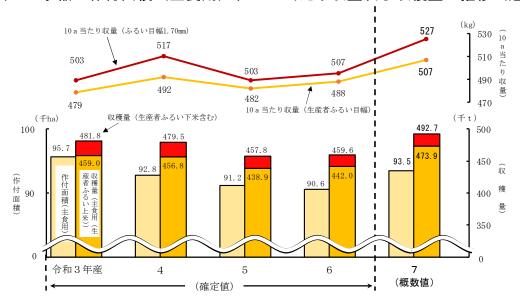
2 近畿の作況単収指数は105と見込まれる。

#### 参考

近畿の水稲の10月25日現在の<u>ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量(主食用</u> (生産者ふるい下米含む)) は49万2,700 t で前年産に比べ3万3,100 t 増加と見 込まれる。

○ 令和7年産調査から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふるい目幅1.80 mm、1.85mm、1.90mmで収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量(主食用)として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量(主食用)は、本年産以降、収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))と表記することとした。

## 図1 水稲の作付面積(主食用)、10a 当たり収量及び収穫量の推移(近畿)



- 作付面積(主食用)とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積(9月15日時点)を除いた面積である(14ページ【参考1】参照)。
- 10 a 当たり収量及び収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である(令和7年産は予想)。
- 10 a 当たり収量及び収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である(令和7年産は予想)。
- 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。
- 〇 作況単収指数は、10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均(最高、最低除く)に対する10 a 当たり収量の比率である。

#### ◎ 累年データ

#### 水稲の年次別推移

## 1 近畿

	作付面積	生産者が	が使用してい	るふるい目幅で選	國別	ふるり	い目幅1.70mm	nで選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	101, 900	495	nc	504, 300		508	102	517, 700	105, 800	537, 200
28	100, 500	505	102	508, 400		516	102	519, 000	104, 500	538, 700
29	99, 400	498	99	494, 700		510	99	507, 000	103, 200	526, 600
30	99, 500	489	98	486, 200		502	98	498, 700	103, 100	517, 500
令和元	99, 000	491	100	486, 200		503	100	498, 000	102,600	516, 400
2	97, 700	465	95	454, 100		490	97	478, 000	101, 300	496, 000
3	95, 700	479	103	459, 000		503	103	481, 800	99, 300	499, 700
4	92, 800	492	103	456, 800		517	103	479, 500	96, 400	498, 400
5	91, 200	482	98	438, 900		503	97	457, 800	94, 700	476, 100
6	90, 600	488	101	442,000		507	101	459, 600	94, 000	476, 900
7 (概数値)	93, 500	507	104	473, 900	105	527	104	492, 700	96, 000	505, 800

資料:農林水産省統計部『作物統計』(2~7の統計表において同じ。)

- 注:1 作付面積(主食用)とは、作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた 面積である。
  - 2 作付面積(子実用)とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、青刈り面積(飼料用米・WCS用稲等を含む。)を 除いた面積である。
  - 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量及び収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である(令和7年産は予想)。
  - 4 生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。
    - 平成27年産から令和元年産まで: 全国農業地域ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である(近畿1.80mm)。

令和2年産以降

- : 都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である(滋賀県1.90mm、京都府1.85mm、大阪府1.80mm、兵庫県1.85mm、奈良県1.80mm、和歌山県1.80mm)。
- 5 前年産まで収穫量(主食用)として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量(主食用)は、令和7年産以降、収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))と表記することとした。
- 6 作況単収指数は、10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均(最高、最低除く)に対する10 a 当たり収量の比率である。
- 7 「nc」は計算不能、「…」は事実不詳であることを示している。

## 2 滋賀県

	作付面積	生産者	が使用してい	るふるい目幅で選	<b>星別</b>	ふる	い目幅1.70m	nで選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	30,600	504	nc	154, 200		518	103	158, 500	32, 200	166, 800
28	30, 200	525	104	158, 600		534	103	161, 300	31, 900	170, 300
29	30,000	504	96	151, 200		517	97	155, 100	31, 700	163, 900
30	30, 100	501	99	150, 800		512	99	154, 100	31, 700	162, 300
令和元	30, 200	498	99	150, 400		509	99	153, 700	31, 700	161, 400
2	29, 700	475	95	141, 100		509	100	151, 200	31, 100	158, 300
3	28, 900	483	102	139, 600		519	102	150, 000	30, 100	156, 200
4	27, 700	487	101	134, 900		523	101	144, 900	29,000	151, 700
5	27,000	470	97	126, 900		504	96	136, 100	28, 300	142,600
6	27, 400	484	103	132, 600		517	103	141, 700	28, 400	146, 800
7 (概数値)	29, 300	505	104	148, 000	105	536	104	157, 000	29, 800	159, 700

# 3 京都府

	作付面積	生産者	が使用してレ	いるふるい目幅で過	選別	ふる	ハ目幅1.70m	mで選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	14, 400	500	nc	72,000		510	101	73, 400	15, 000	76, 500
28	14, 300	507	101	72, 500		516	101	73, 800	14, 800	76, 400
29	14, 100	501	99	70, 600		510	99	71, 900	14, 700	75, 000
30	13, 900	491	98	68, 200		502	98	69, 800	14, 500	72, 800
令和元	13, 800	495	101	68, 300		505	101	69, 700	14, 400	72, 700
2	13, 800	484	98	66, 800		501	99	69, 100	14, 300	71,600
3	13, 600	486	100	66, 100		504	101	68, 500	14, 200	71,600
4	13, 400	497	102	66, 600		514	102	68, 900	14, 000	72,000
5	13, 200	489	98	64, 500		502	98	66, 300	13, 800	69, 300
6	13, 000	512	105	66, 600		527	105	68, 500	13, 600	71, 700
7 (概数値)	13, 200	520	102	68, 600	106	536	102	70, 800	13, 600	72, 900

## 4 大阪府

	作付面積	生産者	が使用してレ゙	るふるい目幅で選	星別	ふるり	ハ目幅1.70mm	nで選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	5, 440	477	nc	25, 900		495	100	26, 900	5, 440	26, 900
28	5, 310	491	103	26, 100		505	102	26, 800	5, 310	26, 800
29	5, 150	490	100	25, 200		506	100	26, 100	5, 150	26, 100
30	5, 000	475	97	23, 800		494	98	24, 700	5, 010	24, 700
令和元	4, 850	485	102	23, 500		502	102	24, 300	4, 850	24, 300
2	4, 700	448	92	21, 100		472	94	22, 200	4, 700	22, 200
3	4,620	476	106	22,000		490	104	22, 600	4,620	22,600
4	4, 540	489	103	22, 200		503	103	22, 800	4, 540	22, 800
5	4, 430	489	100	21, 700		503	100	22, 300	4, 440	22, 300
6	4, 290	472	97	20, 200		483	96	20, 700	4, 290	20, 700
7 (概数値)	4, 100	481	102	19, 700	100	491	102	20, 100	4, 100	20, 100

## 5 兵庫県

	作付面積	生産者	が使用してい	るふるい目幅で過	<b>墨</b> 別	ふる	い目幅1.70m	11で選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	35, 700	488	nc	174, 200		501	103	178, 900	37, 300	186, 900
28	35, 400	490	100	173, 500		501	100	177, 400	37, 000	185, 400
29	35, 100	489	100	171, 600		501	100	175, 900	36, 600	183, 400
30	35, 500	479	98	170, 000		492	98	174, 700	37, 000	182,000
令和元	35, 300	484	101	170, 900		497	101	175, 400	36, 800	182, 900
2	34, 800	455	94	158, 300		477	96	166, 000	36, 500	174, 100
3	34, 100	468	103	159, 600		491	103	167, 400	35, 800	175, 800
4	32, 800	487	104	159, 700		513	104	168, 300	34, 500	177, 000
5	32, 500	478	98	155, 400		497	97	161,500	34, 200	170,000
6	32, 200	475	99	153, 000		491	99	158, 100	34, 000	166, 900
7 (概数値)	33, 600	498	105	167, 300	105	516	105	173, 400	35, 200	181, 600

## 6 奈良県

	作付面積	生産者	が使用してい	いるふるい目幅で過	<b>墨</b> 別	ふる	い目幅1.70m	nで選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	8, 850	501	nc	44, 300		515	100	45, 600	8, 870	45, 700
28	8, 680	512	102	44, 400		525	102	45, 600	8, 710	45, 700
29	8, 580	508	99	43,600		521	99	44, 700	8,610	44, 900
30	8, 530	499	98	42, 600		514	99	43, 800	8, 580	44, 100
令和元	8, 450	502	101	42, 400		515	100	43, 500	8, 490	43, 700
2	8, 430	462	92	38, 900		482	94	40, 600	8, 480	40, 900
3	8, 400	502	109	42, 200	•••	512	106	43,000	8, 440	43, 200
4	8, 350	512	102	42, 800		522	102	43, 600	8, 410	43, 900
5	8, 200	507	99	41,600		517	99	42, 400	8, 250	42, 700
6	7, 960	517	102	41, 200		526	102	41, 900	8, 000	42, 100
7 (概数値)	7, 750	526	102	40, 800	104	535	102	41, 500	7, 770	41, 600

## 7 和歌山県

	作付面積	生産者	が使用してい	るふるい目幅で選	<b></b>	ふるい	ハ目幅1.70mm	nで選別	作付面積	ふるい目幅 1.70mmで選別
年 産	(主食用)	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 上米))	作況 単収 指数	10 a 当たり 収 量	対前年産比	収穫量(主食用 (生産者ふるい 下米含む))	(子実用)	収穫量 (子実用)
	ha	kg	%	t		kg	%	t	ha	t
平成27年産	6, 900	488	nc	33, 700	•••	499	101	34, 400	6,900	34, 400
28	6, 720	496	102	33, 300		507	102	34, 100	6, 720	34, 100
29	6, 560	496	100	32, 500		507	100	33, 300	6, 560	33, 300
30	6, 430	479	97	30, 800		492	97	31,600	6, 430	31,600
令和元	6, 360	482	101	30, 700		494	100	31, 400	6, 360	31, 400
2	6, 250	446	93	27, 900		462	94	28, 900	6, 250	28, 900
3	6, 100	484	109	29, 500		497	108	30, 300	6, 100	30, 300
4	5, 980	511	106	30,600		519	104	31,000	5, 980	31,000
5	5, 780	498	97	28, 800		506	97	29, 200	5, 780	29, 200
6	5, 680	500	100	28, 400		506	100	28, 700	5, 680	28, 700
7 (概数値)	5, 600	526	105	29, 500	106	534	106	29, 900	5, 600	29, 900

## 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量(主食用)

生産者等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、 参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅 別 10 a 当たり収量及び収穫量(主食用)の概数値を示すと次のとおりである。

本調査では、農産物規格規程に定める三等以上の玄米の重量を把握しており、未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移(近畿)

単位:%

年 産	計	1.70mm以上1.75 mm未満	1.75 ~1.80	1.80 ~1.85	1.85 ~1.90	1.90 ~2.00	2.00mm 以上
令和2年產	100.0	1.0	1.8	2. 1	3. 1	14. 3	77.7
3	100.0	1.0	1.6	1.9	2.7	14. 3	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	12.7	80.1
5	100.0	0.8	1.2	1.6	2.4	10. 5	83. 5
6	100.0	0.8	1.1	1.4	2.3	10.1	84. 3
7 (概数値)	100. 0	0.9	1.3	1.5	2. 4	10. 4	83.5
対前年差 (ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	△ 0.8

- 注:1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である(以下同じ。)。
  - 2 「△」は負数または減少したものを示している(以下同じ。)。

表2 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(主食用)の推移(近畿)

年	産	単位	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
令和2年産	10 a 当たり収量	kg	490	485	476	466	451	381
7 和 2 平/生	収穫量(主食用)	t	478, 000	473, 200	464, 600	454,600	439, 800	371, 400
3	10 a 当たり収量	kg	503	498	490	480	467	395
ပ	収穫量(主食用)	t	481, 800	477, 000	469, 300	460, 100	447, 100	378, 200
4	10 a 当たり収量	kg	517	512	505	495	480	414
	収穫量(主食用)	t	479, 500	475, 200	468,000	458, 900	445,000	384, 100
5	10 a 当たり収量	kg	503	499	493	485	473	420
J	収穫量(主食用)	t	457, 800	454, 100	448,600	441,300	430, 300	382, 300
6	10 a 当たり収量	kg	507	503	497	490	479	427
	収穫量(主食用)	t	459, 600	455, 900	450, 900	444, 400	433, 900	387, 400
	10a当たり収量	kg	527	522	516	508	497	443
7 (無米/店)	収穫量 (主食用)	t	492, 700	488, 300	482, 400	474, 600	464, 800	413, 400
(概数値)	対前年比 (収穫量(主食用))	%	107	107	107	107	107	107

## 【調査結果】

#### 1 近畿

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は9万3,500haで前年産に比べ2,900ha増加した。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は、507kg(前年産に比べ+19kg)と見込まれる。
  - これを府県別にみると、滋賀県は505kg(前年産に比べ+21kg)、京都府は520kg(同+8kg)、大阪府は481kg(同+9kg)、兵庫県は498kg(同+23kg)、 奈良県は526kg(同+9kg)、和歌山県は526kg(同+26kg)と見込まれる。
- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は47万3,900 t (前年産に比べ3万1,900 t 増加)と見込まれる。
- (4) 近畿の作況単収指数は105と見込まれる。

これを府県別にみると、滋賀県は105、京都府は106、大阪府は100、兵庫県は105、奈良県は104、和歌山県は106と見込まれる。

## 参考

10月25日現在の10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は、527kg(前年産に比ベ+20kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は49万2,700t(前年産に比べ3万3,100t 増加)と見込まれる。

## 表3 令和7年産水稲の作付面積(主食用)及び10月25日現在の予想収穫量(近畿)

		作付置	i積 (主食用	∄)		生産者が使	囲しているる	いるい目幅で	選別			ふるい	目幅1.70mmで泊	選別	
全農	国 業地域	実 数	前年産と	on Hubbs	10 a 当 予想収			・想収穫量 三産者ふるい_	上米))	作況	10 a 当 予想』		予 (主食用(生産	想収穫量 者ふるい下き	米含む))
府	県	夫 <u></u> 叙	刊年と	V) ILAX	実 数 ②	前年産 との比較	実数 ③=①×②	前年産との	比較	単収 指数	実 数 ④	前年産 との比較	実数 ⑤=①×④	前年産と	の比較
			対 差	対 比	_	対 比	0 0/0	対 差	対 比			対 比	w w.w	対 差	対 比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		kg	%	t	t	%
近	畿	93, 500	2,900	103	507	104	473, 900	31, 900	107	105	527	104	492, 700	33, 100	107
滋	賀	29, 300	1, 900	107	505	104	148, 000	15, 400	112	105	536	104	157, 000	15, 300	111
京	都	13, 200	200	102	520	102	68, 600	2,000	103	106	536	102	70, 800	2, 300	103
大	阪	4, 100	△ 190	96	481	102	19, 700	△ 500	98	100	491	102	20, 100	△ 600	97
兵	庫	33, 600	1, 400	104	498	105	167, 300	14, 300	109	105	516	105	173, 400	15, 300	110
奈	良	7, 750	△ 210	97	526	102	40, 800	△ 400	99	104	535	102	41, 500	△ 400	99
和	歌山	5, 600	△ 80	99	526	105	29, 500	1, 100	104	106	534	106	29, 900	1, 200	104

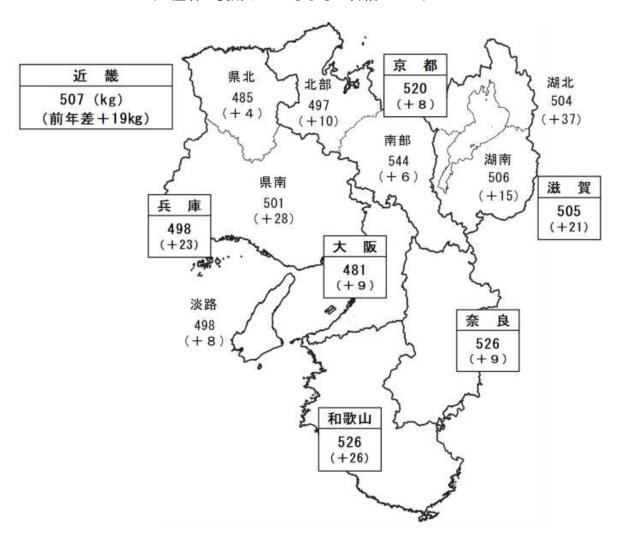
- 注:1 作付面積(主食用)とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
  - 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
  - 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量については、府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
  - 4 近畿の予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))については府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
  - 5 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均(最高、最低除く)に対する10 a 当たり収量の比率である。

表4 令和7年産水稲の作付面積(子実用)及び10月25日現在の予想収穫量(近畿)

		<i>II</i> L-1 ⊃	二年 /フ 中田)			> 7	) 1 년 70 · 조절미		
		1 EU I	面積 (子実用)			నార	い目幅1.70mmで選別		
全 農業	国 地域	実数	前年産と	on Habs	10 a 当たり予	想収量	予想収	穫量 (子実用)	
府	• 県	美	刊十生と	V) LIEX	実 ② ②	前年産 との比較	実 数 ③=①×②	前年産と	の比較
			対 差	対 比	4	対 比	9-U×2	対 差	対比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%
近	畿	96, 000	2,000	102	527	104	505, 800	28,900	106
滋	賀	29, 800	1,400	105	536	104	159, 700	12,900	109
京	都	13, 600	0	100	536	102	72, 900	1,200	102
大	阪	4, 100	△ 190	96	491	102	20, 100	△ 600	97
兵	庫	35, 200	1, 200	104	516	105	181, 600	14,700	109
奈	良	7, 770	△ 230	97	535	102	41, 600	△ 500	99
和問	<b>火</b> 山	5, 600	△ 80	99	534	106	29, 900	1,200	104

- 注:1 作付面積(子実用)とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、青刈り面積(飼料用米・WCS用稲等を含む。)を 除いた面積である。
  - 2 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目で選別された玄米の重量である。
  - 3 近畿の予想収穫量(子実用)については、府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

図2 府県・作柄表示地帯別 10 a 当たり予想収量 (10 月 25 日現在) (生産者が使用しているふるい目幅ベース)



#### 2 滋賀県

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は2万9,300ha(前年産に比べ1,900ha増加)とな った。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は505kg (前年産に比べ+21kg)と見込まれる。これは、全もみ数が、天候に恵まれ前年に比べ「多い」となったこと、千もみ当たり収量(登熟)が、出穂・開花期の高温により前年同様不稔もみの発生がみられたことやもみ数が多くなったことに伴う相反作用等で前年に比べ「やや少ない」と見込まれること等による。

また、作柄表示地帯別の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は、湖南506kg(前年産に比ベ+15kg)、湖北504kg(同+37kg)と見込まれる。

- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は14万8,000 t (前年産に比べ1万5,400 t 増加)と見込まれる。
- (4) 滋賀県の作況単収指数は105と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作況単収指数は湖南が103、湖北が109と見込まれる。

## 参考

10月25日現在の10 a 当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は536kg(前年産に比ベ+19kg)と見込まれる。作柄表示地帯別の10 a 当たり予想収量(同)は、湖南が538kg(前年産に比ベ+14kg)、湖北が532kg(同+31kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は15万7,000 t(前年産に比ベ1 万5,300 t 増加)と見込まれる。

#### 表 5 令和 7 年産水稲の作付面積(主食用)及び 10月 25日現在の予想収穫量(滋賀県)

		作付面	積(主食用)		生	産者が使用し	しているふるい目	幅で選別			ふるい	・目幅1.70mmで選別	[1]	
府	県		<b>治仁本</b> ]	. On U.Labelt	10 a 当たり予	想収量		想収穫量 産者ふるい」	:米))	10 a 当たりう	予想収量	予 (主食用(生産	想収穫量 者ふるい下3	(含む))
ניות	ж	実 数 ①	対差 対均		実 数	前年産と の比較	実 数	前年産と	の比較	実 数	前年産と の比較	実 数	前年産と	の比較
			対 差	対 比	2	対 比	3=1×2	対 差	対 比	4	対 比	5=0×4	対 差	対 比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
滋	賀	29, 300	1,900	107	505	104	148, 000	15, 400	112	536	104	157, 000	15, 300	111

# 表 6 令和 7 年産水稲の作付面積(子実用)、10 a 当たり予想収量及び主な収量構成要素の前年比較(10月25日現在)(滋賀県・作柄表示地帯別)

		<b>針が使用してい</b>		Valor	· (3) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	)		ふるい	目幅1.70mmで選	別			<b>L</b> 構成要素
府 県	ふる	5い目幅で選別	31)	TFTVIE	作付面積 (子実用) 事 数 前年産との比較			予想収量	予想収利	<b>嬳量</b> (子実用	引)	(前年	三比較)
作 柄表示地帯	10 a 当たり 予想収量	前年産と の比較	作況 単収	実数	前年産と	の比較	実 数 ②	前年産と の比較	実 数 ③=①×②	前年産と	の比較	全もみ数の多少	千もみ当たり 収量の多少
	(1.90mm)	対 比	指数	•	対 差	対 比	0	対 比	9-U^6	対 差	対 比		収里の多少
	kg	g %		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
滋 賀	505	104	105	29, 800	1,400	105	536	104	159, 700	12,900	109	多い	やや少ない
湖南	506	103	103	19, 900	600	103	538	103	107, 100	6,000	106	多い	やや少ない
湖北	504	108	109	9, 890	770	108	532	106	52,600	6,900	115	多い	やや少ない

注: 主な収穫量成要素の前年比較区分は、「多い」が対前年比106%以上、「やや多い」が105~102%、「前年並み」が101~99%、「やや少ない」が98~95%、「少ない」が94%以下に相当する(以下同じ。)。

#### 3 京都府

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万3,200ha(前年産に比べ200ha増加)となっ た。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は520kg (前年産に比べ+8kg)と見込まれる。これは、気温・日照時間ともに前年を上回って経 過し全もみ数が前年に比べ「多い」となったこと、千もみ当たり収量(登熟)が、もみ数 が多くなったことに伴う相反作用等で前年に比べ「少ない」と見込まれること等による。 また、作柄表示地帯別の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は、南部が544kg(前年産に比べ+6kg)、北部が497kg(同+10kg)と見込まれる。
- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は6万8,600 t (前年産に比べ2,000 t 増加)と見込まれる。
- (4) 京都府の作況単収指数は106と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作況単収指数は南部が108、北部が103と見込まれる。

#### 参考

10月25日現在の10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は536kg(前年産に比ベ+9kg)と見込まれる。作柄表示地帯別の10a当たり予想収量(同)は、南部が560kg(前年産に比ベ+6kg)、北部が512kg(同+12kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は7万800 t(前年産に比べ2,300 t 増加)と見込まれる。

## 表7 令和7年産水稲の作付面積(主食用)及び10月25日現在の予想収穫量(京都府)

		作付面	i積(主食用	)	生	産者が使用	しているふるい目	幅で選別			ふるい	・目幅1.70mmで選別	31	
府	県		and the sales	との比較	10 a 当たりう	想収量		想収穫量 産者ふるい」	:米))	10 a 当たりう	予想収量	子 (主食用(生産	・想収穫量 〔者ふるい下>	(含む))
713	XX.	実 数 ①	削十座。	C V) JL WX	実_数	前年産と の比較	実_数_	前年産と	の比較	実_数	前年産と の比較	実_数_	前年産と	の比較
			対 差	対 比	2	対 比	3=0×2	対 差	対 比	4	対 比	\$=1\x4	対 差	対 比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
京	都	13, 200	200	102	520	102	68, 600	2,000	103	536	102	70, 800	2, 300	103

## 表8 令和7年産水稲の作付面積(子実用)、10 a 当たり予想収量及び主な収量構成 要素の前年比較(10月25日現在)(京都府・作柄表示地帯別)

	生産者	が使用してい	いる	lle l+a	i積(子実用)	\		ふるい	目幅1.70mmで選	別		主な収量	k 構成要素
府 県	ふる	い目幅で選別	IJ	TP1V III	I慎(丁夫用)	,	10 a 当たり <sup>-</sup>	予想収量	予想収	獲量 (子実用	])	(前年	比較)
作 柄表示地帯	10 a 当たり 予想収量	前年産と の比較	作況 単収	実 数 ①	前年産と	:の比較	実 数 ②	前年産と の比較	実 数 ③=①×②	前年産と	の比較	全もみ数の多少	千もみ当たり 収量の多少
-	(1.85mm)	対 比	指数	•	対 差	対 比	<b>&amp;</b>	対 比		対 差	対 比	V) B/Y	以里の多少
	kg	%		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
京 都	520	102	106	13, 600	0	100	536	102	72,900	1,200	102	多い	少ない
南部	544	101	108	6, 780	△80	99	560	101	38,000	0	100	多い	少ない
北部	497	102	103	6, 800	10	100	512	102	34, 800	800	102	多い	少ない

#### 4 大阪府

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は4,100ha(前年産に比べ190ha減少)となった。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は481kg (前年産に比ベ+9kg)と見込まれる。これは、天候に恵まれ、全もみ数が「やや多い」となったこと、千もみ当たり収量(登熟)が、出穂期以降、天候に恵まれていることから「やや多い」と見込まれること等による。
- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は1万9,700 t (前年産に比べ500 t 減少)と見込まれる。
- (4) 大阪府の作況単収指数は100と見込まれる。

## 参考

10月25日現在の10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は491kg(前年産に比ベ+8kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は2万100t(前年産に比べ600t 減少)と見込まれる。

#### 表 9 令和 7 年産水稲の作付面積(主食用)及び10月25日現在の予想収穫量(大阪府)

		作付面	積(主食用)		生	産者が使用	しているふるい目	幅で選別			ふるい	目幅1.70mmで選別	51]	
府	県		並左奔)	この比較	10 a 当たりう	想収量		想収穫量 産者ふるい上	:米))	10 a 当たりう	予想収量	予 (主食用(生産	想収穫量 者ふるい下米	(含む))
ИĀ	M	実 数 ①	削牛座く	の比較	実 数	前年産と の比較	実 数	前年産と	の比較	実 数	前年産と の比較	実 数	前年産と	の比較
			対 差	対 比	2	対 比	3=1×2	対 差	対 比	4	対 比	5=1×4	対 差	対 比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
大	阪	4, 100	△190	96	481	102	19, 700	△500	98	491	102	20, 100	△600	97

## 表10 令和7年産水稲の作付面積(子実用)、10 a 当たり予想収量及び主な収量構成 要素の前年比較(10月25日現在)(10月25日現在)(大阪府)

			が使用してい		作社商	i積(子実用	)		ふるい	目幅1.70mmで選	别			<b>t</b> 構成要素
p/r		ふる	い目幅で選別	31)	151319	U194 (1 52/11	,	10 a 当たり <sup>-</sup>	予想収量	予想収	穫量 (子実月	用)	(前年	比較)
府	県	10 a 当たり 予想収量	前年産と の比較	作況 単収	実数①	前年産と	との比較	実 数 ②	前年産と の比較	実 数 ③=①×②	前年産	との比較	全もみ数の多少	千もみ当たり
		(1.80mm)	対 比	指数	Œ.	対 差	対 比	3	対 比	3=U×2	対 差	対 比	(1) <b>3</b> /Y	収量の多少
		kg	%		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
大	阪	481	102	100	4, 100	△190	96	491	102	20, 100	△600	97	やや多い	やや多い

#### 5 兵庫県

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は3万3,600ha(前年産に比べ1,400ha増加)とな った。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は498kg (前年産に比ベ+23kg)と見込まれる。これは、6月中旬以降高温・多照で経過し分げつが促進され穂数の増加等により、全もみ数が前年に比べ「多い」となったこと、千もみ当たり収量(登熟)が、もみ数が多くなったことに伴う相反作用等が見込まれることから前年に比べ「やや少ない」と見込まれること等による。

また、作柄表示地帯別の10a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は、県南が501kg(前年産に比ベ+28kg)、県北が485kg(同+4kg)、淡路が498kg(同+8kg) と見込まれる。

- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は16万7,300 t (前年産に比べ1万4,300 t 増加)と見込まれる。
- (4) 兵庫県の作況単収指数は105と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作況単収指数は県南が106、県北が103、淡路が105と見込まれる。

#### 参考

10月25日現在の10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は516kg(前年産に比べ+25kg)と見込まれる。作柄表示地帯別の10a当たり予想収量(同)は、県南が518kg(前年産に比べ+29kg)、県北が501kg(同+7kg)、淡路が525kg(同+11kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は17万3,400 t(前年産に比べ1万5,300 t 増加)と見込まれる。

## 表11 令和7年産水稲の作付面積(主食用)及び10月25日現在の予想収穫量(兵庫県)

		作付面	積(主食用)	)	生	産者が使用	しているふるい目	幅で選別			ふるい	・目幅1.70mmで選別	FI)	
府	県		並左李	との比較	10 a 当たりう	予想収量		想収穫量 産者ふるい」	上米))	10 a 当たりう	予想収量	予 (主食用(生産	・想収穫量 【者ふるい下》	(含む))
713	N.	実 数 ①	削牛生	C V) JL WX	実_数	前年産と の比較	実_数_	前年産と	:の比較	実_数	前年産と の比較	実_数_	前年産と	の比較
			対 差	対 比	2	対 比	3=1)×2	対 差	対 比	4	対 比	\$=0×4	対 差	対 比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
兵	庫	33, 600	1, 400	104	498	105	167, 300	14, 300	109	516	105	173, 400	15, 300	110

## 表12 令和7年産水稲の作付面積(子実用)、10 a 当たり予想収量及び主な収量構成 要素の前年比較(10月25日現在)(兵庫県・作柄表示地帯)

	生産者	が使用してい	いる	V: I+3	i積(子実用	\		ふるい	目幅1.70mmで選	別		主な収量	<b>上</b> 構成要素
府 県	ふる	い目幅で選別	31J	TF1V III	] 傾(丁夭用	)	10 a 当たり <sup>-</sup>	予想収量	予想収積	<b>嬳量</b> (子実用	引)	(前年	比較)
作 柄表示地帯	10 a 当たり 予想収量	前年産と の比較	作況 単収	実数①	前年産と	の比較	実 数 ②	前年産と の比較	実 数 ③=①×②	前年産と	の比較	全もみ数の多少	千もみ当たり 収量の多少
	(1.85mm)	対 比	指数	9	対 差	対 比	3	対 比	(3=(1)×(2)	対 差	対 比	<i>0)委</i> 少	収重の多少
	kg	%		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
兵 庫	498	105	105	35, 200	1, 200	104	516	105	181,600	14, 700	109	多い	やや少ない
県 南	501	106	106	27, 000	1, 100	104	518	106	139, 900	13, 200	110	多い	やや少ない
県 北	485	101	103	5, 350	30	101	501	101	26, 800	500	102	多い	少ない
淡 路	498	102	105	2, 860	120	104	525	102	15,000	900	106	やや多い	やや少ない

#### 6 奈良県

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は7,750ha(前年産に比べ210ha減少)となった。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は526kg (前年産に比ベ+9kg)と見込まれる。これは、天候に恵まれ、全もみ数が前年に比べ「やや多い」となったこと、千もみ当たり収量(登熟)が、出穂期以降も天候に恵まれていることから「前年並み」と見込まれること等による。
- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は4万800 t (前年産に比べ400 t 減少)と見込まれる。
- (4) 奈良県の作況単収指数は104と見込まれる。

## 参考

10月25日現在の10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は535kg(前年産に比ベ+9kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は4万1,500t(前年産に比べ400t減少)と見込まれる。

## 表13 令和7年産水稲の作付面積(主食用)及び10月25日現在の予想収穫量(奈良県)

		作付面	積(主食用)	)	生	産者が使用	しているふるい目	幅で選別			ふるい	・目幅1.70mmで選別	31)	
府	県		前年産	la O lula table	10 a 当たりう	予想収量		想収穫量 産者ふるい」	:米))	10 a 当たりう	予想収量	子 (主食用(生産	・想収穫量 【者ふるい下》	(含む))
ניות	Ж	実 数 ①	削牛座	この比較	実 数	前年産と の比較	実 数	前年産と	の比較	実 数	前年産と の比較	実 数	前年産と	の比較
			対 差	対 比	2	対 比	3=1)×2	対 差	対 比	4	対 比	\$=1\x4	対 差	対 比
		ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
奈	良	7, 750	△210	97	526	102	40, 800	△400	99	535	102	41, 500	△400	99

## 表14 令和7年産水稲の作付面積(子実用)、10 a 当たり予想収量及び主な収量構成 要素の前年比較(10月25日現在)(奈良県)

		生産者	が使用してい	いる	Valta	ā積(子実用	)		ふるい	目幅1.70mmで選	別			<b>k</b> 構成要素
n'r		ふる	い目幅で選択	31)	THILE	11傾(丁夫川	,	10 a 当たり <sup>-</sup>	予想収量	予想収積	養量 (子実月	月)	(前年	比較)
府	県	10 a 当たり 予想収量	前年産と の比較	作況 単収	実数	前年産	の比較	実 数 ②	前年産と の比較	実 数 ③=①×②	前年産	との比較	全もみ数の多少	千もみ当たり 収量の多少
		(1.80mm)	対 比	指数	Œ.	対 差	対 比	2	対 比	3=()×2	対 差	対 比	0)多少	収重の多少
		kg	%		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
奈	良	526	102	104	7, 770	△230	97	535	102	41,600	△500	99	やや多い	前年並み

#### 7 和歌山県

- (1) 令和7年産水稲の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要 米等の作付面積を除いた主食用作付面積は5,600ha(前年産に比べ80ha減少)となった。
- (2) 10月25日現在の10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は526kg (前年産に比べ+26kg)と見込まれる。これは、6月中旬以降、気温・日照時間ともに前年を上回って経過し、分げつが旺盛となって穂数が前年を上回り、全もみ数が、前年に比べ「多い」となったこと、千もみ当たり収量(登熟)は、全もみ数が多いことによる相反作用等から「やや少ない」と見込まれること等による。
- (3) 主食用作付面積に10 a 当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は2万9,500 t (前年産に比べ1,100 t 増加)と見込まれる。
- (4) 和歌山県の作況単収指数は106と見込まれる。

## 参考

10月25日現在の10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)は534kg(前年産に比ベ+28kg)と見込まれる。また、主食用作付面積に10a当たり予想収量(ふるい目幅1.70mmベース)を乗じた予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は2万9,900t(前年産に比べ1,200t 増加)と見込まれる。

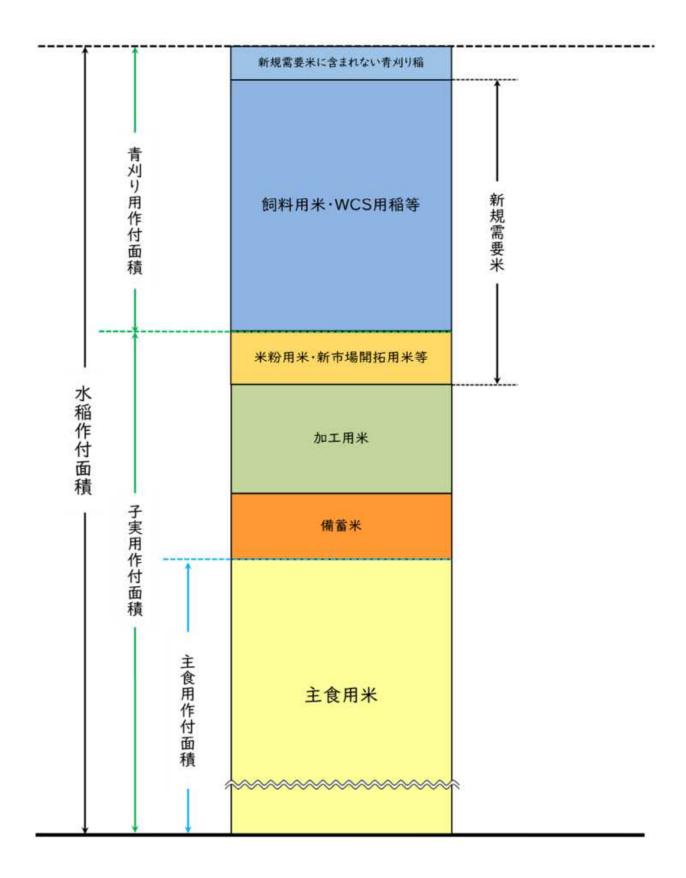
## 表15 令和7年産水稲の作付面積(主食用)及び10月25日現在の予想収穫量(和歌山県)

	作付面	i積(主食用)		生	産者が使用	しているふるい目	幅で選別			ふるい	目幅1.70mmで選別	şij	
府県		前午客)	· 心 比 款	10 a 当たりう	想収量		想収穫量 産者ふるい」	:米))	10 a 当たりう	予想収量	予 (主食用(生産	想収穫量 者ふるい下き	(含む))
/19 AK	実 数 ①	前年産と	の比較	実_数	前年産と の比較	_ 実 _ 数 _	前年産と	の比較	実_数	前年産と の比較	実_数_	前年産と	の比較
		対 差	対 比	2	対 比	3=1×2	対 差	対 比	4	対 比	5=1)×4)	対 差	対 比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	kg	%	t	t	%
和歌山	5, 600	△80	99	526	105	29, 500	1, 100	104	534	106	29, 900	1, 200	104

## 表16 令和7年産水稲の作付面積(子実用)、10 a 当たり予想収量及び主な収量構成 要素の前年比較(10月25日現在)(和歌山県)

-	生産者	が使用してい	いる	li: H-z	n積(子実用	1)		ふるい	目幅1.70mmで選	捌		主な収量	<b>L</b> 構成要素
nder IIII	ふる	い目幅で選り	別	TETULE	11傾(丁夫用	)	10 a 当たり <sup>-</sup>	予想収量	予想収積	穫量 (子実月	用)	(前年	三比較)
府 県	10 a 当たり 予想収量	前年産と の比較	作況 単収	実数①	前年産る	との比較	実 数 ②	前年産と の比較	実 数 ③=①×②	前年産	との比較	全もみ数の多少	千もみ当たり 収量の多少
	(1.80mm)	対 比	指数	Ψ	対 差	対 比	0	対 比	9-U×2	対 差	対 比	V) By	収里の多少
	kg	%		ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
和歌山	526	105	106	5, 600	△80	99	534	106	29, 900	1, 200	104	多い	やや少ない

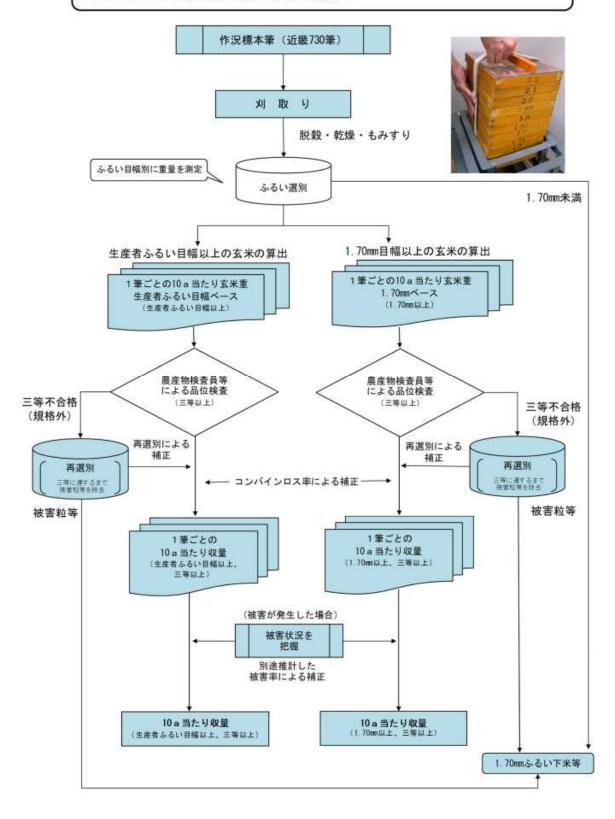
【参考1】 水稲作付面積の概念図



## 【参考2】

# 刈取り調査における 10 a 当たり収量の算出方法

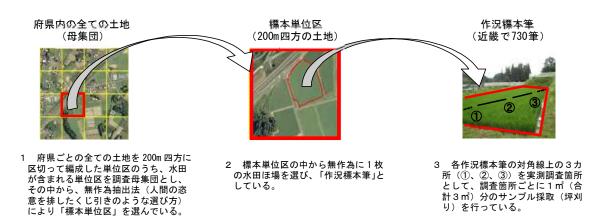
作況標本筆(【参考3】参照)ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の 品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンパインロス率及び被害率による補 正を行い10 a 当たり収量を算出している(下図参照)。



## 【参考3】

# 作況標本筆とは

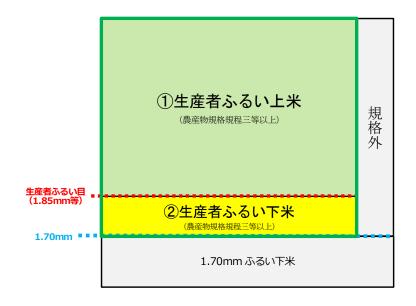
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼ぶ。)は、各府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し(近畿で730筆)調査している。



## 【参考4】

## 水稲収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量(生産者ふるい上米)は、府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目(1.80、1.85、1.90mm)以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量(生産者ふるい下米)は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量(生産者ふるい下米含む)は、①と②をあわせた収穫量(緑枠)を対象としている。



## 【統計表】

https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/d/excel/07\_suitou1025.xlsx

## 【調査の概要】

• 面積調查

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/

・作況調査(水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物) https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou kome/gaiyou/

## 【水稲調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成6年法律第113号)に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法(昭和22年法律第185号)に基づく農作物共済事業の適切な運営のため の資料

## 【ホームページ掲載案内】

・ 本資料は、近畿農政局ホームページの統計情報に掲載している統計調査結果の「農 林水産統計(第1報)」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/index2.html#ippou

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載(令和8年2月予定)します。
- 次回(収穫期)の公表は、令和7年12月上旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、近畿農政局ホームページに掲載します。
- 本調査の全国の結果は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載します。
  https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\_kome/#y4

## 【関連リンク】

農業生産振興関係ページ:農林水産省>組織別から探す>農産局

https://www.maff.go.jp/j/nousan/

病害虫に関する情報:農林水産省>組織別から探す>消費・安全局>病害虫の防除に 関する情報

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生 予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を 行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

◎本統計調査結果について

近畿農政局統計部生産流通消費統計課電話: (代表) 075-451-9161 内線2652

(直通) 075-414-9650

近畿農政局 滋賀県拠点 統計担当

電話: (直通) 077-522-4344

近畿農政局 兵庫県拠点 統計担当

電話: (直通) 078-391-2873

近畿農政局 和歌山県拠点 統計担当

電話: (直通) 073-436-3835

◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課電話: (直通) 075-414-9620

近畿農政局 大阪府拠点 統計担当 電話: (直通) 06-6941-9659

近畿農政局 奈良県拠点 統計担当

電話: (直通) 0742-32-1874







見たい統計を タップして 閲覧!

## スマホでみる農林統計

近畿の府県別、市町村別の主要農林水産統計データをスマートフォン で簡単に閲覧!近畿農政局 HP からご利用いただけます。

ご利用はこちら→ https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/smart.html

